

# 紙推進協ニュース 令和2年3月26日 No.102

紙製容器包装リサイクル推進協議会 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-1-21 新虎ノ門実業会館 8階

TEL : 03-3501-6191 ホームページ : <http://www.kami-suisinkyo.org/>

FAX : 03-3501-0203 Eメール : [p@kami-suisinkyo.org](mailto:p@kami-suisinkyo.org)

本紙推進協ニュース No. 102 では、[I] 会長交代の件、[II] 公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会（容リ協会）紙容器事業情報、[III] 令和元年度第3回理事会報告（3/16～23 書面審議にて実施）、クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス（CLOMA：経産省）2月入会についてお届けいたします。

## [I] 会長交代の件

野口晴彦会長が凸版印刷株式会社常務執行役員中部事業部長に4月1日付で異動されることとなりました。

当推進協議会規約第10条5項の規定に従い、会長より後任の穴水芳光常務執行役員が後任会長に推薦され、会長、副会長によりご承認され、理事会にて了承されました。ここに、4月1日付で、野口晴彦会長から穴水芳光新会長に交代されることをご報告いたします。

## [II] 公益財団法人日本容器包装リサイクル協会（容リ協会）紙容器事業情報

公益財団法人日本容器包装リサイクル協会の令和元年度再商品化見通し等の報告会（3月4日予定）は、新型コロナウイルスの感染が拡大しつつある状況を考慮し開催は中止となり、4素材を総括した資料送付にて確認となりました（資料1参照）。

<令和元年度 再商品化見通し等報告会>の資料による紙容器事業に関する内容

### 1 令和元年度 再商品化実績見通し

- ・市町村からの引き取り見込量は20,660トンとなった（前年度実績20,897トン、前年度比98.9%）。
  - ・再商品化製品販売見込量は、製紙原料19,300トン（94.4%）、材料リサイクル160トン（0.8%）、固形燃料990トン（4.8%）、合計20,450トンとなり、前年度より398トン減少（前年度比98.1%）した。
- 中国輸入規制の影響で、古紙市場においては在庫の滞留や価格の下落などが見られるが、1月までの紙製容器包装の販売は令和元年度も問題もなく推移している。また、市町村からの引き取り見込量は20,660トンと前年度比240トン程度減少が見込まれる。

### 2 令和元年度 紙製容器包装収支見込（余剰精算金見込）

<余剰精算金見込について>

平成20年度より、拠出金制度が開始されたため、実施委託料金収支ベースと拠出委託料金収支ベースで余剰精算金の見込を行っている。

#### ① 再商品化実施委託料金ベース

実施委託料の清算見込額は、約1.41億円となり、

再商品化実施委託料金ベースの余剰金精算率は約30.1%となる見込

## ② 抛出委託料金収支ベース

抛出委託料の清算見込額は、約2,763千円となり、

抛出委託料金収支ベースの余剰金精算率は約73.3%となる見込

### 3 令和2年度 落札結果

- ・市町村の申込量20,606トン（前年度比98.2%）となり前年度から369トン減少した。
- ・入札参加事業者数は44社（前年度45社）に減少し、市町村の申込数も138（前年度143）と減少した。
- ・落札加重平均単価は511円/トン（前年度8,828円/トン）となり、前年度より9,339円下がり、有償から逆有償に変わった。

うち：逆有償落札平均 8,958円/トン（前年度6,365円/トン）

逆有償落札量6,663トン 全落札量の32.3%（前年度3,177トン 全落札量の15.1%）

うち：有償落札平均 -3,525円/トン（前年度-11,541円/トン）

有償落札量 13,943トン 全落札量の67.7%（前年度17,798トン 全落札量の84.9%）

- ・再商品化事業者への支払いは、逆有償落札単価・量ともに増加により、59,687千円と昨年より増加する見込（前年20,222千円）。
- ・有償入札による再商品化事業者からの容り協への委託収入は約49,149千円と見込まれ、消費税控除後の金額が有償で落札した保管施設の市町村に抛出される。

## 〔Ⅲ〕 令和元年度第3回理事会報告（3/16～23書面審議にて実施）、クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス（CLOMA:経産省）2月入会

公益財団法人日本容器包装リサイクル協会の令和元年度再商品化見通し等の報告会（3月4日予定）は、新型コロナウイルスの感染が拡大しつつある状況を考慮し開催は中止となり、4素材を総括した資料送付令和元年度第3回理事会を令和2年3月16日（月）～23日（月）に書面審議にて開催しました。

新型コロナウイルス感染が拡大しつつある状況を考慮し、急遽書面審議としたため、議題は最小限に絞り1.会長交代、2.2019年度の活動経過・決算見込報告、3.2020年度の活動計画・予算案のみとし、詳細については、5月の理事会において討議することとしました。また、経産省資源循環経済課の要請を受けて、クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス（CLOMA）に2月入会したことを活動経過報告で説明しました。

### 1 会長交代

- ・会長交代について、野口晴彦会長が4月1日付の異動により、後任の穴水芳光常務執行役員を後任会長に推薦され、会長、副会長によりご承認されたことを報告しました。

※来年度は役員改選の年ですが、引き続きの役員継続をお願いし、異動等が予定される方には、変更届の提出をお願いしました。

### 2 2019年度の活動経過・決算見込報告

#### 2-1. 自主行動計画2020フォローアップ報告（2018年度実績）

- 1) リデュースの推進：11.0%削減（2004年度比：紙・板紙使用量削減）
- 2) リサイクルの推進：回収率27.0%

## 2-2. 容器包装リサイクル制度見直しに向けた取り組み及び関連動向 <容り法改正対策委員会>

### 1) 産業構造審議会（10月31日）／識別表示サイズの縮小等

- ・産業構造審議会において、再商品化義務量の算定に係る量、比率等の説明の後、資源有効利用促進法に基づく識別表示のサイズの縮小等について審議されました。
- ・当推進協議会は、容り法改正対策委員会（書面審議）で検討の上、スチール缶・アルミ缶・PET製容器の識別表示を紙製容器包装と同等のサイズに縮小することに関しては、特に問題は無いと賛同し、その上で、前回の合同審議会において、古紙ルート「雑がみ」収集を実施する市町村拡大及び紙製容器包装の回収量拡大のために、紙単体と複合品の区別表示を設定することを提言し、「容器包装リサイクル制度の施行状況の評価・検討に関する報告書」における分別排出の考えられる施策の例として、「紙製容器包装の回収量の拡大の観点からの識別表示の検討を引き続き行うべきである」と課題として取り上げられていることを確認し、引き続きのご検討をお願いしたいと発言しました。

### 2) レジ袋有料化決定（2020年7月施行）

- ・「プラスチック資源循環戦略」の重点戦略として位置付けられた、リデュースの取り組みとして、レジ袋有料化義務化の促進に関して、産構審・中環審の合同会議が開催されました。
- ・容器包装リサイクル法の枠組を基本としつつ、省令の見直し等を通じて有料化義務化を迅速に実施し国民的理解を醸成していくとともに、消費者のライフスタイル変革を促していくこととなりました。
- ・パブリックコメントの後、12月に第4回合同委員会が開催、省令改正にて2020年7月施行となりました。

### 3) クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス（CLOMA）入会

- ・経済産業省資源循環経済課の要請を受けて、クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス（CLOMA）に2020年2月に入会しました。
- ・CLOMAでの取り組みは、容器包装リサイクル制度の枠組み見直しにつながる可能性もあり、「プラスチックから紙、バイオマスプラスチック等の再生可能資源への適切な代替の促進」等、直接係る部分もあることから参加することとしました。
- ・海洋プラスチックごみ問題を解決するためにアクションプランの作成を目指しており、Key action 5の「紙・セルロース素材の開発・利用」におけるテーマ2の「未利用の紙系廃棄物、複合素材廃棄物のリサイクル」について参画しています。

### 4) 経済産業省素材産業課委員会

- ・経済産業省素材産業課による国際的な資源循環を巡る外部環境による調査（国内の古紙リサイクルを巡る課題について）検討会に委員として参加しました。2021～2025年度における古紙利用率の目標設定をメインテーマに、古紙リサイクルの課題についても討議しました。

### 5) 中国の廃棄物輸入規制の動き

- ・紙製容器包装あるいは雑がみを含む「その他古紙」が2018年1月より中国への輸出が禁止となりましたが、2021年の1月に向けて、更に、段ボールをはじめとした古紙全般の輸出も禁止となる予定であり、輸出相場だけでなく、国内相場も下落し、古紙のリサイクル制度の枠組みが維持できるのか大変心配されています。紙製容器包装あるいは雑がみのリサイクルは主に段ボールのリサイクルの増量材として使用されておりますので、段ボール相場の下落の影響を受けており、今後、回収率の低下が予想されます。

## 2-3. 紙製容器包装のリサイクル実態把握のための調査活動

### 1) 市町村のヒアリング調査及び組成分析調査 <技術委員会>

- ・古紙ルート（雑誌・雑がみ）として回収している東京都小平市、埼玉県川越市及び雑がみとして回収している神奈川県横須賀市に取り組み状況についてヒアリング調査を実施して情報交換をしました。
- ・北海道北見市（指定法人ルート）及び岡山県倉敷市（雑誌・雑がみ/集団）にて、紙製容器包装の組成分析調査を実施しました。定点観測の名古屋市の組成分析調査は、新型コロナウイルスの影響から中止としました。

### 2) 紙製容器包装のマテリアルフローの作成 <技術委員会>

- ・2018年度の紙製容器包装全体のマテリアルフローを作成しました。

### 3) 市町村回収量アンケート調査 <総務委員会>

- ・市町村の回収量アンケート調査を人口10万人以上の295市区対象に実施、291市区より回答を得ました。ご協力いただいた市町村に調査集計報告と「3R改善事例集第13版」を送付、紙製容器包装の回収促進と、今後の調査への協力をお願いしました。

## 2-4. 3R推進のための広報・啓発 <総務委員会>

### 1) 「3R改善事例集第13版」発行

### 2) 「エコプロ2019」に出展（12月5日-7日：東京ビッグサイト）

## 2-5. 3R推進団体連絡会における取り組み（自主行動計画と主体間連携の推進）

### 1) 自主行動計画フォローアップ報告（12月11日：経団連会館）

### 2) 主体間連携の推進

- ・「容器包装3R推進フォーラム」（千代田区：1月28日）開催
- ・意見交換会「容器包装3R交流セミナー」（福岡・京都・秋田市）開催
- ・3R推進市民リーダー育成：主幹事として「スキルアップ研修」や「自治体担当者セミナー」を開催
- ・展示会への出展：副幹事として「エコプロ2019」、3R推進全国大会（環境省主催；新潟県）等に参画

## 2-6. 会員への情報提供

### 1) 紙推進協ニュース（No. 99～102）の発行やメールの発信

### 2) 「3R改善事例集第13版」を全会員に送付・ホームページの充実

## 2-7. 2019年度決算見込報告

- ・全体の収支計算見込みとしては、新型コロナウイルス感染拡大のため、名古屋市での組成分析調査をはじめ、3月の活動・会議等を中止したため、大幅赤字予算は若干の黒字見込みとなりました。

## 3 2020年度活動計画・予算案

### 3-1. 2020年度 活動計画

#### 1) 企画・運営 <運営幹事会>

#### 2) 容器包装リサイクル制度の見直しに向けた取り組み <容リ法改正対策委員会>

##### ① 容リ制度の見直しに向けた「提言」の検討

経済産業省・環境省による合同審議会において取りまとめられた「容器包装リサイクル制度の施行状況の評価・検討に関する報告書」に対応して、当推進協議会の「提言」の実現に向けて取り組むとともに、次回の容リ制度の見直しに向け、再度「提言」についても検討します。

## ② 第四次自主行動計画（2021～2025年度）の目標設定の検討

第四次自主行動計画（2021～2025年度）の数値目標を含めた目標設定の検討を行ない、自主行動計画2025として発表の準備をします。

## ③ 「プラスチック資源循環戦略」で示された、「プラスチックから紙、バイオマスプラスチック等の再生可能資源への適切な代替の促進」等、クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス（CLOMA）での取り組みをはじめとした諸問題や、「中国の廃棄物輸入規制問題」についても検討します。

### 3) 紙製容器包装のリサイクル実態把握のための調査活動

### 4) 3R推進のための広報・啓発

### 5) 3R推進団体連絡会における取り組み（自主行動計画と主体間連携の推進）

第四次自主行動計画（2021～2025年度）の数値目標を含めた目標設定の検討を行なうとともに、第三次自主行動計画「容器包装3Rのための自主行動計画2020」推進を3R推進団体連絡会としてまとまって取り組みます。

自主行動計画2020の4年目（2019年度）の成果を12月に経団連とともにフォローアップ報告として開催し、その成果を公表します。

主体間の連携を推進するため①3R推進フォーラム、②3R交流セミナー、③3R推進市民リーダー育成、④「エコプロ2020」に出展等を実施します。

また、指定法人が中心となって有識者・関係者と連携しつつ検討する課題については、指定法人ルートの4団体を中心に有力団体と連携しつつ取り組みを進めていきます。

## 3-2 2020年度予算案

- ・2020年度に向け財政は大変厳しいが、容リ制度見直しに向けた提言の検討や第四次自主行動計画の目標設定に向け、会員セミナーを開催予定。

- ・日本容器包装リサイクル協会の令和元年度再商品化事業者説明会資料（紙製容器包装）

<https://www.jcpra.or.jp/recycle/explanation/tabid/1038/index.php#kami>

### <書面審議結果>

会長交代をはじめ、活動報告、決算見込報告、活動計画、予算案について異議無く了承されました。

### 推進協ニュース別添資料

- ・資料1 「令和元年度 再商品化見通し等報告会」資料

—以上—